

ふれあい鷺山

鷺山校区コミュニティー誌



第51号

2018年12月31日

発行

鷺山自治会連合会

鷺山まちづくり

協議会

地域コミュニティ情報サイト「さぎ山の広場」では、掲載情報を募集しています！
地域の出来事、募集情報等があれば sagiyama.machikyou@gmail.com にご連絡ください。



秋は、鷺山を彩る多世代交流！
秋の祭典が目白押し！



文化祭



敬老会



鷺山 485 市民大運動会



さぎっ子くらぶ さつまいもほり



防災キャンプ



ふるさとふれあい活動



グリーンシティぎふの日 一斉清掃活動



子どもフェスティバル



鷺山南地区 住居表示(平成31年2月4日実施)

にむけて相談会が開催されました



忘れてない？ サイフにスマホに火の確認

平成30年11月18日(日)に若水町公民館にて、鷺山南地区の住居表示に向けた対象住民に対する相談会が開催されました。相談会は、3回に分けて開催され、多くの対象住民が相談に訪れました。それぞれのご家庭の事情に応じて、相談される内容も様々。個別に岐阜市の職員が対応し、相談に応じられていました。待合席もアツという間に満席になり、入れ替わり立ち替わり住民の皆さんが相談に訪れました。この相談会で、特に多かった相談内容は次のようなことでした。参考までにご覧ください。



1 不動産登記について
Q 建物を所有し登記をしていないが、土地の番号は変わらなから、手続きは行わなくてもいいか。
A 誰の所有の建物か記載してある部分に所有者の住所があるため、その部分の変更手続きが必要になります。岐阜市の発行する「住居表示の証明書」を添付すると、手数料(正式には登録免許税)が無料になります。

Q だが、どこへ行けば、登記を変更できるのか。
A 法務局に行つて、手続きしてください。所有者本人以外が行く場合、委任状を作成してください。

2 住居表示の証明書について
Q 住居表示の証明書は、いつ、どこで手に入れることができるか。
A 平成31年2月4日(月)以降に、市民課や日光事務所などの岐阜市の各事務所が発行します。また、平成31年2月10日(日)に若水町公民館で行う、特別受付でも発行します。

3 運転免許証について
Q 運転免許証記載事項変更
A 何枚でも、市役所が開いている日であればいつでも発行します。必要になりましたら、お申し付けください。

Q 住居表示の証明書は何枚もらえるのか。いつまで発行するのか。
A 何枚でも、市役所が開いている日であればいつでも発行します。必要になりましたら、お申し付けください。

届(青い字のカード)が2枚しかない。○人分必要だがどうすればいいか。
A 各戸配付の際は、どのようなカードか見ていただき、入れさせていただきます。このカードは会場に用意してありますので、会場で書いていただきます。

4 マイナンバーカード・通知カードなど、市民課取り扱いのカードについて
Q ぎふ市民カード(鶉の絵が入ったカード)は手続きが必要なのか。
A ぎふ市民カードは、印鑑登録証として利用いただいております。このカードについては、手続きは必要ありません。

Q 特別受付に行けない場合は、どうすればいいか。
A 平日に、県内の警察署や運転者講習センターで手続きをお願いします。

Q 通知カードは、特別受付の時でない変更できないか。
A 平日であれば、市民課や日光事務所などの岐阜市の各事務所に対応させていただきます。



火事の多くなる季節です。各家庭で点検しましょう。

ストーブのそばに燃えやすい物はありますか？ 家の周りにゴミ等燃えやすい物が放置されていませんか？ 住宅用火災報知器の点検を定期的に行いましょう！

5その他
Q 各会社の手続きをしなかった場合は、どうなるのか。

A 契約が無効になることはありません。また、郵便物もしばらくは元の住所でも届けてもらうことができます。しかし、長い間放置されると届かなくなる恐れがありますので元の住所で郵便物が届いたときに、相手方に連絡を入れるなどの対応をお願いします。

Q 後期高齢者医療被保険者証は住所の書き換えが必要なのか。

A 住所の書き換えは必要ありません。8月には新しい住所に変わったものが届きます。

Q 新住所お知らせ用ののはがきは、平成31年2月4日(月)以前に使ってもいいのか。

A 「平成31年2月4日に住所が変わります」ということのお知らせですので事前に、使用していただいても問題ありません。

Q はがきをもっと欲しいのだが。

A 追加が欲しい場合は、市民課・日光事務所・岐阜北郵便局・岐阜正木郵便

局にご用意してありますので、お渡しすることができます。

鷺山南地区の住居表示について不明な点がありましたら、岐阜市市民課住居表示係058-214-2853にお問合せください。

また、若水町公民館横に設置される街区案内板の除幕式が、平成31年2月4日(月)午前9時〜開催される予定です。

鷺山校区敬老会 及び 金婚祝い伝達式

平成30年9月17日(祝)に鷺山小学校体育館にて、鷺山校区敬老会が開催されました。当日は、午前8時から自治会長の皆さんが体育館に集合し、会場準備を行いました。

まず、会場全体に、緑のマットを敷き詰め、段差が生じないように丁寧にテープで養生をしていきました。その後、椅子を等間隔に並び、50人以上の来場者を迎えられる準備が完了です。

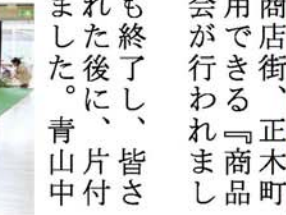


夫婦は、視聴覚クラブの神山光雄さんが記念撮影をされました。式典終了後には、お祝いの演芸が披露され、鷺山民謡クラブの演舞、青山中学校コーラス部、しらすぎコーラスクラブの合唱が披露されました。毎年恒例の大垣女子短期大学のウインドアンサンブルの皆さんにも華やかな演奏を披露頂きました。最後には、敬老会のお楽しみ鷺山商店街、正木町発展会で利用できる『商品券』の抽選会が行われました。

抽選くじも終了し、皆さんが退出された後に、片付けが行われました。青山中学校の生徒の皆さんが、自主的に後片付け作業にも取り組みました。重たい物も数多く片付けをし

披露され、鷺山民謡クラブの演舞、青山中学校コーラス部、しらすぎコーラスクラブの合唱が披露されました。毎年恒例の大垣女子短期大学のウインドアンサンブルの皆さんにも華やかな演奏を披露頂きました。最後には、敬老会のお楽しみ鷺山商店街、正木町発展会で利用できる『商品券』の抽選会が行われました。

抽選くじも終了し、皆さんが退出された後に、片付けが行われました。青山中学校の生徒の皆さんが、自主的に後片付け作業にも取り組みました。重たい物も数多く片付けをし



なければならぬ中、中学生が手伝ってくれたので、非常にスムーズに片付け作業が進みました。この様な機会に、中学生との交流が持てたことは本当に喜ばしいことでした。



岐阜市北消防団鷺山分団 新しいポンプ車を竣工

平成30年11月28日(水)に岐阜市北消防団鷺山分団に新しいポンプ車が納車されました。

これまで活動していたポンプ車は平成11年に納車された車両で、19年間鷺山の防火活動に従事してきました。長年に亘りお疲れ様でした。この度納車されたポンプ



車は、こちらになります。

以前のポンプ車はマニュアル車でしたが、今回のポンプ車はオートマチック車になりました。そのため、AT限定免許の団員もポンプ車を運転することが可能になりました。その一方で、ポンプ車の重量が増えたため、平成29年3月12日以降に自動車免許を取得した人は、このポンプ車を運転するために、準中型免許を取得する必要があります。消防団員の確保が年々苦勞する中、新たに考慮しなければならぬ準中型免許の対応についても、地域全体で考えていかなければならないと思います。今後、消防団員の確保に向けて御協力お願い致します。



地区対抗リレーで大逆転! 鷺山地区が優勝! 鷺山校区市民大運動会

平成30年10月7日(日)に鷺山小学校グラウンドにて鷺山校区市民大運動会が開催されました。開催数日前の天気予報では、台風25号の影響で、開催が危ぶまれていた市民大運動会。それが、何とか天候も回復し、無事開催することができました。午前9時から、主催者を代表して、乾尚美鷺山自治会連合会長の挨拶を頂き、市民大運動会の幕が切って落とされました。老若男女が集う市民大運動会。小さな子ども達から高齢者の大先輩まで幅広い皆さんが参加する種目が目白押しでした。大人気のパラム食い競走、炭酸との戦いラムネ早飲み競走、顔が真っ白になる中あめ玉を探すアメリ競走は会場を大いに盛り上げました。地区対抗の綱引きでは、毎年各地区の前に立ちはだかる自治会&体育振興会の混成チームを、古川地区が打ち破る大殊勲がありました。午前の最終種目、各種団体リレーでは、各団体の特色を存分に表現するパフォーマンスが披露されました。体育

振興会はオリピックを湧かせたカラーリング競技を模してグラウンド各所でユニークなパフォーマンスを披露されました。消防団と水防団のアンカーは各団長がさらに素敵なパフォーマンスを披露!消防団の矢上スを披露!消防団の総振り貴夫分団長は伝統の總振りを各地区の応援団席前で行いました。水防団の粥川誠二団長は、積み土のう工事に仕上げの杭打ちが行い、見事に工法を完成させゴールインです。前半を終えて地区対抗綱引きを先頭に勝ち上がり、僅差で首位を走っていた古川地区。ここから今年の市民大運動会はドラマがありました。地区対抗リレー女子の部では、各地区力強いバトンリレーを繰り広げる中、正木地区が勝利を勝ち取りました。総合優勝の行方を占う地区対抗リレー男子の部では、鷺山地区が見事に勝利し総合優勝を決定づけました。鷺山地区が485点をたたき出し、見事総合優勝でした。

また、鷺山校区市民大運動会開催にあわせて、岐阜市都市美化推進連絡協議会鷺山支部にて、雑がみ回収イベントも行われました。鷺山では第3火曜日が資源分別回収の日です。雑がみをはじめ資源分別回収に御協力お願いいたします。

「電話番号が変わった」 「代わりの者にお金を渡す」 「カードを預かる」 「宅配便でお金を送金」



「先に保証金を送金」「還付金がある」は、特殊詐欺の常套句！一人で悩まず家族や警察に相談を！

鷺山公民館だよりの

第87号 発行
岐阜市鷺山公民館
Tel 294-1665
鷺山公民館にご用
のある方は、月曜
日～土曜日の午前
9時～12時に来館
や問合せをお願い
します。



平成30年度鷺山校区文化祭
「三世代」
みんなであつくる
秋の祭典
鷺山公民館館長 林勝己

平成30年度文化祭開催に
当たり天候不順の中、自治
会連合会・まちづくり協
会・各種団体・公民館ク
ラブル・校区民の皆様など多数
の方々にご支援、ご協力頂
き無事開催出来ました。

今年度も例年以上に内容
の充実を図るべく各コー
ナの検討を重ね、古田 靖
志校長先生のサイエンスシ
ョーを初めとし、JAぎふ
鷺山支店の野菜直売など新
企画、また会場作り・演芸
内容の充実、屋外の有効利
用等様々な所で楽しんで頂
くことが出来ました。今年
度も青山中学校の生徒の皆
さんが2日間に亘りボラン
ティア活動に参加してくだ
さり、校区の皆さんとふれ
あうことが出来たと思いま
す。

ながら、今までにない充実
した内容にすることが出来
たと思っています。子ども
達の作品の展示も多数あり
キッズコーナーでの物つく
り・クイズラリーなど1日
中にぎわっており、また今
年度は鷺山保育所のソーラ
ン踊りも文化祭に初参加し
ていたできました。親子と
もに素晴らしい思い出と各
コーナーで楽しんでもらっ
ことが出来ました。来年も
子ども達が文化祭に参加し
ようと思ってくれたら大変
喜ばしい限りです。さらに
演芸では、観客席も1日中
ほぼ満席状態で、今までの
ないことで、校区の皆様
にお陰だと思っております。
来年度は、新しい元号で
の文化祭開催となりますが
皆様のご支援、ご協力を頂
きながら、さらに今年以上
の文化祭が出来事を願っ
ています。



「やあー」
と、最後のポーズを決めた
とき、ぼくは、やりきった
気持ちになりました。体育
館に来ていた地域の人達か
ら、たくさん拍手をもら
ってとてもうれしかったで
す。

文化祭でのソーラン
を終えて
鷺山小学校 4年3組
加納 陽向

わたしは4年生は、11
月4日の文化祭に地域の
達の前で演奏しました。わ
たしは、「いつだって」の
指揮をしました。指揮の練
習で、わたしは、テンポが
ずれないように気をつけ、
学年練習や昼休みにメロ
ノームに合わせ練習しま
した。練習を続けて、だ
んだんテンポが合うよう
になりました。その時、わ
たしは、昼休みに練習して
よかったです。練習してい

「校区文化祭で
指揮をしたこと
鷺山小学校 4年2組
北川 明依」
ラン節の練習を始めまし
た。ぼくは去年もやって
るので、すべて覚えてい
ました。だから、3年生の
本になれるように一生懸命
踊ったり、たい形移動が
んばったりしました。運動
会本番では、たい形移動が
とてもきれいな形移動が
して、みんながそろって踊
っていて大成功でした。ぼ
くは地域の人もこのソーラ
ン節を見てもらいたいと思
い、文化祭での発表に立候
補しました。運動会よりも
っと上手にできるように、
他の二十人と頑張る練習
をしました。当日は、気持ち
よく踊れてとてもよかったです。



いよいよ当日、地域の
の前で演奏をする時が来
ました。この時、わたしは、
ちゃんとテンポよく指揮が
できるか不安でした。でも
演奏が終わった時、地域の
人達が拍手をしてくださ
ったので、自分は、ちゃんと
指揮が合っていたんだと
うれしくなりました。
この経験を通して、練習
すれば進歩することが分か
りました。さらに、いろい
ろなこと挑戦していきま
す。



夕方以降に出かける時は、夜光たすきをつけて自動車から目立つようにしまし
よう！

ソーラン節

楽しかった！

岐阜市立鷺山保育所
所長 大澤 喜代美

11月3日、4日と鷺山校区文化祭が開催されました。4日(日)の午後から、鷺山保育所の年長児34名が演芸の部で参加し、ソーラン節を披露しました。

昨年、職員がソーラン節を踊ったのをきっかけに子どもたちと一緒に踊ってみると、年長児が『もって踊りたい！』という気持ちが出てきて、「ソーラン、やりたい！」という声が多くなりました。春より少しずつ練習を重ね、5月には子どもフェスティバルで踊り、職員や小さい子からも拍手をいっぱいもらいました。



鷺山夏祭り大会では、地域の皆様、保護者の方に披露する予定でしたが、雨天のため演舞が中止となり、鷺山校区文化祭では是非にというお声をいただき、出演させていただけました。

運動会を終え、大きく成長した子どもたち。大勢の方の前で見事に演じてくれました。ステージの上では、一人一人がキラキラと輝き、笑顔を見せる余裕さえあり、自信に満ち溢れていました。また、一段と立派な姿を見ることができ、嬉しく思いました。お家の方々からも「上手だったよ！」「かっこよかったですよ！」「褒めてもらいました。また、たくさんの方から拍手をもらい、さらに自信をつけたことと思います。

4月からは、それぞれの校区へ入学していきますが、地域の皆様の温かい見守りを、今後もよろしくお願い致します。

青山中学校 鷺山校区文化祭に参加して

青山中学校 2年 横山 玲奈

私は文化祭に合唱部として参加させていただきました。そこで合唱部の成果を発表しました。「Gift s」という曲は、今年の夏のコンクールで歌い、文化祭でも一・二年生だけで挑戦して歌いました。また、一番最後に歌った「ふるさとは地域の大勢の方と歌いました。地域の方が大き



な声で歌うので最初は驚いたけれど、たくさんの人とハモることができて嬉しかったし、会場を一つにできたように楽しかったです。「文化祭」という機会が合唱部の発表をさせてくれたこと、私たちが成長ができたと思いますし、また、鷺山の方々に今までの感謝の思いを合唱を通して伝えることができて良かったです。

青山中学校 2年 堤 明穂

私はボランティアとして鷺山校区文化祭に参加し、友達と楽しく活動ができて良かったです。私は司会を務めました。文化祭に関することは少ないのですが、ステージに出るのですが、ステージに出る方に「ありがとう。」と言われることがあって、その時はすごく嬉しかったです。友達と「次はこうしよう。」とか、「○○と言われたから、そうしようね。」などと話しながら進められたことを工夫して進められたことがすごく楽しかったです。終わったあとの片づけで、去年もやった経験を生かして、次やるのいいと思

ました。来年も文化祭にボランティアとして参加したいです。これからボランティア



アにも積極的に参加して、自分から進んで動いていけるようになりたいです。そして、学校でもやると良いと思ったことを自分から実行したり、困っている仲間を助けたりすることができ、自分になりたいです。

青山中学校 教頭 永井 伸幸

「大人の方と一緒に何かか司会を進められたので良かったです。」「地域の人の関わりが多くて、話しかけてくださる方が多く、優しくしていただけたことが嬉しかったです。」「ずっと動きっぱなしで去年よりも疲れた気もするけれど、地域の方、特に小さいお子さんや、一緒にお手伝いをしてくださったお母さんたちとコミュニケーション

事故防止のため、自動車の運転では、対向車等がまぶしくない限りハイビームを使いましょう！

今年度もボランティアとして、合唱部の発表の場として、また、作品の展示という形で本校の生徒も文化祭に参加させていたいただきました。冒頭の言葉にあるように生徒たちは、鷺山の皆さんの輪に加わり、人としての触れ合いがもてたこと、そして、自分たちができることが果たせたことに喜びを感じています。こうした思いは鷺山夏祭り大会、市民大運動会でも抱いている中学生の思いです。学校では得られない貴重な体験に大変感謝をしていますし、今後一人一人でも活躍できる一人一人になっていくことを願っています。そして、今の経験、思いは十年後、二十年後の地域で活躍する姿につながっていくと信じています。



「三世代 みんなでつくる 秋の祭典」 鷺山校区文化祭



文化祭に参加して
代表 茶道クラブ
高岡 文子

鷺山校区文化祭で、お茶席を受け持たせて頂いて感謝しております。

一人でも多くの方に、気楽にお茶を楽しんで頂きたいと思ひ、お茶を点てさせて頂きました。情報交換、お友達とおしゃべりを楽しみながらお茶を召し上がっている様子を見てうれしく思いました。本当にお稽古を重ねて良かったと思ひながら、皆様から元気を頂きました。

また、来年も「文化祭のお茶席でお会いできるように」お稽古をしていきたい



毎月11日は、イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーンの日です。

平成30年9月30日(日)に台風24号が本州に上陸した際、鷺山公民館が避難所として活用されました。その際、多くの皆さんが、鷺山公民館に一時避難されました。幸い、この時の台風では人的被害は発生しませんでした。なお、避難者に情報を提供するため、公民館のテレビを利用して頂けるよう設置したのですが、公民館にはテレビが1台しかないため、避難所の運営スタッフが必要であることが明らかになりました。そこで、鷺山校区自主防災隊で鷺山公民館事務室にテレビを設

避難所として利用する
鷺山公民館に
テレビを設置



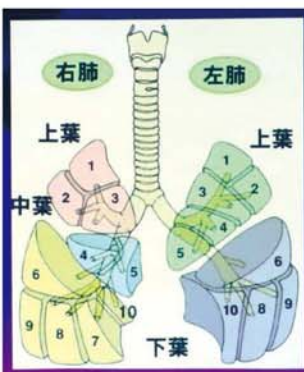
と思ひます。私達 茶道クラブは、第1・3の火曜日の午前中に鷺山公民館でお茶のお稽古をしています。是非、興味のある方はお越し下さい。お待ちしております。

平成30年9月8日(土)に岐阜市社会福祉協議会鷺山支部、鷺山公民館主催で、『健康講座』が開催されました。講師には、岐阜大学医学部呼吸器外科教授の岩田 尚先生を招き、『現代の肺がん外科治療』についてお話を頂きました。



置して頂きました。台風等発災時の対策について、自主防災隊にて、一つずつ検証しながら、万全の体制を整えられるように、検討を進めています。災害は起きないことに越したことはありませんが、いざ、発災時にも適切に地域住民の皆さんを受け入れられるように、防災に関するハード・ソフト対策を充実させていきたいと思ひます。

更に、肺の構造も説明をして頂き、肺を切除する際の考え方や、昔は困難であった切除術も超音波を使用したメス等医療機器の進歩により、患者の負担が少なく済む治療も試みられていることを実際の手術の様



肺がんというと、がんの中でも治療が難しいがんと知られています。近年、様々な医療技術の開発により、その治療効果が向上していることが紹介されています。治療でも、手術、放射線治療、化学療法、免疫療法を組み合わせることで適切に治療できるような取り組みが紹介されました。肺から酸素をとり込む『肺胞』の構造にも触れ、肺胞が潰れていないが、治療効果が高い方も、わかりやすく説明を頂きました。



子を見せて頂きながら説明を頂きました。日々進歩している医療技術に感心しながら、自分たちが万が一肺がん罹患した際にはどのような対応が必要なのか来場者からの質問にも答えさせて頂きました。健康を維持するために、栄養バランスの整った食生活、日々の運動をはじめ、生活習慣を改善することが重要です。また、早期発見・早期治療のためにも、定期的な健康診断を受けるようにしましょう！



11日にイオンでお買い物の際は、黄色いレシートを「鷺山まちづくり協議会のBOX」に投函をお願いします。

私たちにできることから
はじめましょう

雑がみ回収 ボックスへの 改修作業に トライ!



平成30年11月25日(日)に鷺山小学校北西入口脇に設置されている旧うさぎ飼育小屋を活用した「雑がみ回収ボックス」への改修作業に挑戦しました。民間の回収ボックスが各所で設置が進む中、その利便性もあり多くの方が回収ボックスを利用されています。そこで鷺山小学校の児童の皆さんにも積極的に資源分別回収に取り組みツールとして、雑がみ回収ボックスへの改修を岐阜市都市美化推進連絡協議会鷺山支部の皆さんを中心に取り組みました。改修の第一歩は、小屋全体に取り付けられている金網の撤去から始まり、長年の錆もあり、インパクトドライバでは取り外すことが出来ないネジもあり、デイスクグラインダーなどの工具を使用して取り外して



いきました。金網の取り外しが完了したら、今度は屋根や壁の手入れです。錆が出ていた根は丁寧に根を落とし、錆を落とし、その後、耐久性の高いペンキを塗装していき、木製の壁や梁の部分には、浸透性の防腐剤も塗っていました。耐久性を増やしていき、枠組みが完成したところで、扉を取り付け、周りをコンパネで囲い完成となりました。今後、コンパネを貼り付けた部分に鷺山小学校の児童の皆さんにデザイン画を施してもらおう計画を立てています。素敵な雑がみ回収ボックスの仕上げが児童の皆さんにしてもらえたら、雑がみ回収ボックスへのリニューアルも完成です。今後、鷺山小学校の児童の皆さんと相談しながら、本格運用に向けて前進していきたいと思えます。



平成30年10月11日(木)に鷺山子ども館にて、さぎっ子くらぶが開催されました。この日は、日光児童センターの中島先生と実習生の皆さんと一緒に体を動かしたり、工作して楽しみました。少し肌寒いかな?と感ずきましたが、みんなが集まって遊ぶのが楽しくなりました。最初に暖かくなり、音楽に「からだピアノ」になり、

みんなあつまれ! 子育てサークル さぎっ子くらぶ

ハロウィン飾りをつくらよ!



平成30年11月17日(土)にJAさぎふ鷺山支店に協力を頂き、さぎっ子くらぶのメンバーでさつまいも掘り体験を行いました。まずはじめに、さつまいもの蔓の生えていた周りをショベルで掘り起こしました。畝の土は硬く、子ども達にはちょっと大変でしたが、がんばってスコップを使ってさつまいもを掘り出していき、収穫は、残念ながらあまり

みんなあつまれ! 子育てサークル さぎっ子くらぶ

さつまいも掘り体験

あわせてふれあいタイムです。その後も好きな楽器を持って音楽にあわせて楽しみました。後は、先生が用意してくれたハロウィンの飾り作りにも挑戦しました。カボチャ・オバケ・コウモリの飾りに子ども達のアイディアが吹き込まれて個性豊かな飾りに変身していききました。




セアカコケグモについてはQRコードからアクセスください。

平成30年9月5日(水)に鷺山北公園で「セアカコケグモ」が捕獲されました。鷺山の周辺地域でも、セアカコケグモが捕獲されており、広く生息している可能性があります。野外での活動時には、気を付けてください。

鷺山北公園で捕獲されたセアカコケグモ



岐阜市自然環境課提供

注意!! 鷺山北公園で「セアカコケグモ」が捕獲されました! 捕獲されました!

鷺山の福祉

ふれあいいきいきサロン

各地区にて、平成30年度第1回ふれあいいきいきサロンが開催されました。岐阜市社会福祉協議会コーデ

イネーターの加藤 里美さんから、指のマッサージなどの簡単な脳トレ体操が紹介されました。

指はあらゆる脳を刺激する神経のつながりがあることから、マッサージをする事で脳を刺激する効果が期待できます。北部ふれあい保健センターの安田 美和保健師からは、これから寒くなる季節に流行する**ノロウイルス**を防ぐための**手洗い**の仕方や、**インフルエンザ**の**予防接種の重要性**、「**フレイル**」を予防するために自宅でできることについてお話し頂きました。岐阜市地域包括支援センター北部の皆さんからは、包括支援センターの活



動内容や、今年からセンターに從事しての紹介が行われました。

正木地区 115名
於 **正木公民館**
10月14日(日)

正木地区では、お馴染みの茂益亭 蝶代師匠が登場し、**振り込め詐欺などの被害に遭わないための小話**や、創作漢字の読み方を当てるクイズなどを交え、笑いの絶えないひとときを送りました。引き続き、藍水会の皆さんによる踊りと歌のステージが披露され、参加者と共に歌いながら、会場を盛り上げて頂きました。お馴染みのきよしのズンドコ参加者全員が、ペットボトル



第62号 発行
岐阜市社会福祉協議会 鷺山支部
Tel 231-0040

清洲地区 1762名
於 **清洲町公民館**
10月17日(水)

清洲地区では、大城 豊次さんのアコースティック演奏、幸子さんの歌声にあわせて、懐かしのメロディーを歌っていききました。参加者の皆さんにも、それぞれ歌詞カードが配られて、**懐かしい歌を参加者全員で元気に歌っていきましょう**。皆さんが青春を謳歌した時代の歌も多く、若き頃の想いも巡らせながら口ずさむひとときでした。清洲地区の代表理事の小森 忠良さんから、元銀行マンのキャリアから振り込め詐欺のお話や身近な防災に関するお話を頂きました。

で作成されたマラカス(通称シャカシャカ)を元氣いっぱい振りながら、きよしのズンドコ節を口ずさみ元氣いっぱい体操を行いました。



緑ヶ丘地区 63名
於 **緑ヶ丘地区公民館**
10月21日(日)

緑ヶ丘地区では、恒例の筋トレクラブの河合 輝久さんによる軽い体操で体を



鷺山地区では『あらふじぎ山田さん』と題して、地元在住の山田 和廣さんのマジックショーを楽しみました。紐やコインを使ったマジック、箱の中からはあつと驚く旬の果物のミカンや柿が出てきて、来場者を驚かせていました。また、なぜか細かく切ったティッシュペーパーが、うどんにも変わって頂きました。

鷺山地区 10月23日(火)
於 **鷺山自治公民館**

活動アドバイザーの古田 政樹さんからは、**実際に届いた「訴訟最終告知のお知らせ」という葉書**を見せてもらいながら、**特殊詐欺への注意を喚起**して頂きました。身に覚えのないことでお金に関わる話が出来たら、必ず家族や周りの人、警察等に相談しましょう！



古川地区では、音楽療法士の藤澤 玲子先生に、お越し頂きました。昔懐かしい歌を参加者が一緒に歌って合唱したり、隣組の替え歌を楽しんだりして頂きました。最後に、藤澤先生から頂いたクルミの入ったお手玉で、**手の刺激が脳の活性化、全身の健康維持に深く関わっている**ことを図で示してもらいながら、手を使ったマッサージをして頂きました。最後は、古川地区恒例の岐阜赤十字奉仕団鷺山分団による炊き出しご飯、吸い物を頂き楽しいひとときを過ごしました。

古川地区 10月24日(水)
於 **若水町公民館**

この他にも、**普通に読んで逆から読んで同じ言葉(回文)をたくさん紹介**してもらいました。例えば『かるいきびんなこねこなんびきいるか(軽い機敏な子猫何匹いるか)』という言葉になります。



鷺山の資源分別回収は、毎月第3火曜日です。ゴミ減量のため、資源分別回収に御協力ください。

850円の募金が寄せられました。ご協力誠にありがとうございました。

雑がみの回収に力を入れています。是非、様々な紙を「雑がみ」として回収し資源化を進めよう！
 雑がみ回収の詳細は、下のQRコードから岐阜市HP 雑がみ大辞典をご確認ください。



鷺山での福祉活動を 充実していくために 地域福祉活動計画を 策定しました

平成30年10月に、鷺山での地域福祉活動の充実に向けた『地域福祉活動計画』が策定されました。概ね5年間の重点ポイントと地域福祉活動の重点項目をまとめた、よりよい鷺山にむけて取り組んでいきます。地域福祉活動計画の重点目標としては、以下の3つを掲げています。

- ① 「日常の見守り活動」の推進
- ② 民生児童委員・福祉委員

鷺山地区 地域福祉活動計画

声をかけ合い、誰もが安心して心豊かに暮らせるまち
さぎやま



住民相互の見守り・支え合い活動の促進を図り、災害緊急時の支援活動にかかる事業を推進し、三世帯誰もが住み慣れた「鷺山」で心豊かで健康的にいきいきとした生活ができる福祉社会の実現を目指します！

岐阜市社会福祉協議会 鷺山支部
平成30年10月

- ③ 避難行動要支援者の支援強化
 - この3つの活動を推進するために、どのような取り組みが必要なのか引き続き議論を重ね、地域の福祉活動を進めていきます。地区で開かれる『サロン』の取組み方、自治会長と民生児童委員・福祉委員の協力体制の在り方、いざという時の情報を記載した『赤いミニチュアポスト』の取組みなど、重要な活動の取組方を5年間で改善していきたいと考えています。
 - 『声をかけ合い、誰もが安心して心豊かに暮らせるまちさぎやま』を目指して地域福祉活動の充実に取り組みでいきます。

重点目標

1 「日常の見守り活動」の推進

高齢者や障がい者、お一人暮らしの方、子どもなど支援を必要とする人が孤立してしまわないように見守り・助け合います。

◆具体的な取り組み◆

- ① 自治会長、民生児童委員、福祉委員が情報を共有し、日常の見守り活動を行い、必要に応じてお声をかける。
- ② みんながあつまる『サロン』を随時開催する。

2 民生児童委員・福祉委員の連携強化

「安心・命のボタン情報だより」は、ご自分の医療情報をカードに記入し『赤いミニチュアポスト』に入れて冷蔵庫の中に保管します。急病、けが等で駆け付けた救急隊員は、必要とする情報をいち早く知ることができ、適切に医療機関への対応ができます。「赤いミニチュアポスト」は、60歳以上のひとり暮らし、65歳以上の高齢者世帯の希望者に配布します。希望者は、地元の自治会長にお問い合わせください。

◆具体的な取り組み◆

- ① 『赤いミニチュアポスト』の新規設置及び情報内容を更新する。
- ② 定期的に自治会長を含め民生児童委員と福祉委員の『交流の場』を設ける。



各地区での交流の場『ふれあい・いきいきサロン』



3 避難行動要支援者の支援強化

鷺山地区では『災害対策基本法』に基づく『避難行動要支援者』が約400名在住です。自治会長、民生児童委員、福祉委員が情報を共有し、日常の見守り活動、防災時のお声かけなどを実施し支援します。

◆具体的な取り組み◆

- ① 『支え合いマップづくり』を各地区自治会単位で実施し、『避難行動要支援者』等の情報を共有する。
- ② 『福祉避難所』開設・運営に向けて取り組む。

情報共有の場『支え合いマップづくり』



本年度も、0歳児から1歳児の親子を対象にした『親子ふれあい教室』が開催されました。日光児童センターの先生から、親子ふれあいの指導を受け、親子で一緒に遊ぶ楽しさを学びました。親子ふれあい教室は、親子で一緒に遊ぶ楽しさを学びました。親子ふれあい教室は、親子で一緒に遊ぶ楽しさを学びました。

0・1歳児親子対象 親子ふれあい教室開催

**いざという時のために
避難所開設
子ども会育成会
インリーダー生
防災キャンプに挑戦**

平成30年9月29日(土) 30日(日)の1泊2日で、鷺山小学校体育館にて鷺山校区子ども会育成会 防災キャンプが開催され、鷺山ではまだ実施したことがなかった宿泊を伴う避難所開設訓練に挑戦しました。参加したのは、インリーダー生とその保護者、鷺山自治会連合会、岐阜市北消防団鷺山分団、鷺山水防団、鷺山女性防火クラブ、岐阜赤十字奉仕団鷺山分団をはじめとした防災に関わる各関係者です。



胸骨圧迫では、**1分間に100回程度の圧迫を救急車が到着するまで実施し続ける**ことが、要救助者の回復に非常に大きく影響することを覚えてもらった後、30回3セットの胸骨圧迫を行いました。その後、AEDの使用訓練を行いました。黒板に心電図の波形を描いてもいい、AEDが必要な心電図の波形はどれなのかクイズも行いました。①の波形は、健康な心臓の波形なのでAEDは必要ありません。②の波形は、心停止している状態で蘇生が難しくなります。また、心停止状態ではAEDは機能しません。実は、**AEDは②の波形のように、心臓が不規則に活動をして全身に血液を送り込むことが出来ない「心室細動」という状態を正常に戻すための機器になります。**心停止から鼓動を取り戻す機器だと思ってる人が多いのですが、実はそうではありません。そのため、心臓が心室細動という心停止直前の状態の時に胸骨圧迫、AEDを使用した救急救命活動ができるかが非常に重要になります。



普通救命講習Ⅰの受講終了後に、体育館での避難所開設訓練、ピロティでの仮設調理場の設営及び調理訓練に取り組みました。避難所開設では、床からの冷え込みを抑えるマットを敷き詰め、マッドが設置された後、段ボール製とビニール製の間に切りを組み立てていきまし生活では、**この簡易な間仕切りだけでは、フライパシキが確保出来ず、非常に大きくなると感じました。**ピロティでは、仮設調理場が設営され夕食の準備を行いました。夕食はアルファ米とツナカレーです。女性防火クラブや赤十字奉仕団の皆さんのフオローをもらいながら、野菜を切りました。材料の準備が整ったら、ものすごい火力のコンロに大きな釜をのせ野菜を炒めていきまし。途中、古田校長先生にも手伝ってもらいながら、



大きなしゃもじを使って炒めていきまし。インリーダー生が阿吽の呼吸で役割分担をし、参加者の夕ご飯の準備をしてくれました。体育館で待っている参加者にカレーライスを配って、全員揃って『いただきます！』ととてもおいしくツナカレーを頂きました。

2日目の朝は一番はオ体操を行いました。避難所の床は、決して寝心地のよいものではなく、床の固さで体の節々が痛くなった人がいました。この様な寝床で長期間寝泊まりをすると、体の血管に血栓ができる『エコノミークラス症候群』を発症してしまうことが想像出来まし。そのためにも、水分補給や体を動かすことの重要性がよく分かりまし。朝食は、アルファ米の五目御飯、即席味噌汁、缶詰を頂きました。朝食を終了した後、避難所と仮設調理場の撤収作業に取りかかり



ました。後片付けが終了した後、参加者が体育館に集まり2日間の活動の振り返りを行いました。インリーダー生からは、間仕切りを使ったスペースで就寝した感想や、大鍋を使った調理に取り組んだ感想を頂きました。また、この様な避難所生活が、1ヶ月以上の長期の場合、**私達が日頃から何を準備すべきなのか考えていく必要がある**という感想もありまし。この防災キャンプの2日間は、実際の避難所生活に比べれば、短い時間で災害が発生した時に活かしていく必要性を実感した訓練となりました。防災キャンプの開催にあたり、多くの皆さんに協力いただいたことに感謝申し上げます。

ノロウイルス、インフルエンザが流行しています。手洗い、うがい等予防を心がけましょう！